

絶対わかる 抗菌薬

一目でわかる
重要ポイントと演習問題で
使い方の基本をマスター

はじめの一步



序	3
本書をより有効にお使いいただくために	6
本書の構成	8

Lecture 1 スッキリわかる感染症へのアプローチ

1. 感染症診療の基本事項	10
1. 抗菌薬を使用する際の思考プロセス	10
2. 感染症診療のトライアングル	11
3. 発熱基本検査セット (Fever work-up)	17
4. 培養検体	18
5. 感染症の分類	20
6. 抗菌薬の評価法	20
7. 抗菌薬を投与する場合の留意点	21
2. 抗菌薬の基本事項	23
1. 抗菌薬の表記方法	23
2. 抗菌薬の作用メカニズム	24
3. 抗菌薬を理解するうえでのポイント	26
4. 抗菌薬の薬物動態 (PK-PD) における分類	30
5. 抗菌薬の諸外国における標準的使用量と国内の保険適用量	32
6. 抗菌薬の併用について	32

Lecture 2 **これが必須の知識** ～各抗菌薬の特徴と使い方～

1. ペニシリン系抗菌薬	36
2. セフェム系抗菌薬とモノバクタム系抗菌薬	51
3. カルバペネム系抗菌薬	66
4. グラム陽性球菌カパー薬	75
5. アミノグリコシド系抗菌薬	93
6. ニューキノロン系抗菌薬	105
7. マクロライド系抗菌薬	119
8. クリンダマイシン	131
9. テトラサイクリン系抗菌薬	140
10. メトロニダゾール	148
11. ST 合剤	156

いざ実践！ CaseStudy

Case1 ～ 5	167
-----------	-----

付 録

1. 成人（腎機能が正常な場合）における国内の保険適用量と諸外国（米国の例）での一般的な投与量	190
2. 成人における腎機能による抗菌薬の用量調節	192
3. 妊婦および授乳婦への抗菌薬投与	198
4. バンコマイシンの適正使用（上級編）におけるトラフ値の測定法と用量調節	201
索引	202